

「民学産公」協働研究事業成果報告書

研究事業名：武蔵野コッツウォルズ・森の地図プロジェクト

平成 25 年 2 月 14 日

一般社団法人武蔵野コッツウォルズ

目次

1	プロジェクトの概要	…	P 3
2	幹事（申請）団体のプロフィール	…	P 3
3	協働研究事業参加団体のプロフィール	…	P 4
4	協働研究事業の企画・実施の背景	…	P 6
5	協働研究事業の詳細	…	P 6
6	実施結果	…	P 7
7	結果の考察	…	P 8
8	今後の計画	…	P 9

◆成果物

<写真>

- ・イメージMAP
- ・「スタンプラリー台紙」
- ・「地図セット」
- ・「森の地図・1／100 コースター」

<資料>

- ・スタンプラリー参加者の声抜粋

◆添付書類

- ・A プレスリリース
- ・B 第1回スタンプラリー実施データ
- ・C 第2回スタンプラリー企画書
- ・D 「地図セット」の概要

「民学産公」協働研究事業 成果報告

研究事業名：武蔵野コッツウォルズ・森の地図プロジェクト

1. プロジェクトの概要

東京・武蔵野には、半径約5kmの円を描くと、その中に12の都立公園が収まるグリーンスポットが存在している。この場所には、豊かな緑と東京ならではの文化施設や店舗が共存しています。本事業は、自然と都会がともにある稀有の地域特性に着目。地図上の行政の線引きを超えた視点で新しいサービスの創出に取り組み、市民の健康増進と地域店舗や文化施設が一段と活性化することに貢献します。さらには東京都の観光力向上に寄与することを目的とします。

【実現施策】

- ① 人々が回遊するのに役立つMAPを作製、提供する。
 - ② 地域の店舗や施設との協働で、訪問者へのサービスを提供する。
 - ③ 人々が回遊するのに役立つツール（自転車など）を提供する。
- 上記3施策の内今回の協働研究事業では、①のMAPの作製・提供と、②の訪問者へのサービスの提供を実験的に行う。実現施策をブラッシュアップするため、いくつかのテストを実施しその結果を検証、以後の事業展開に反映させる。

2. 幹事団体のプロフィール

一般社団法人武蔵野コッツウォルズは、緑豊かな「むさしのエリア」を人々が健康的に回遊するための仕組みづくりを目的に設立された。2011年10月に、内閣府雇用創造事業・みたか社会的人材創出コンソーシアムビジネスコンペティションで奨励賞を受賞。2012年2月、一般社団法人として法人化。2012年7月、NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構「民学産公」協働研究事業に採択され、地域の観光協会などとの連携でプロジェクトを推進している。

■工程

- | | | |
|-------|-----|--|
| 2011年 | 10月 | 内閣府雇用創造事業・みたか社会的人材創出コンソーシアム
ビジネスコンペティション 入賞（奨励賞） |
| | 11月 | 「武蔵野コッツウォルズ」事業化準備スタート |
| 2012年 | 2月 | 「武蔵野コッツウォルズ」を一般社団法人として法人登記 |
| | 3月 | 『 - 森の地図 - 武蔵野コッツウォルズ』を商標登録 |
| | 4月 | ホームページ・プレオープン／バーチャル空間の構築開始 |
| | 6月 | ホームページ基盤、概要MAPの完成 |
| | | NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構「民学産公」協働研究事業に
「森の地図・プロジェクト」を応募 |

- 7月 リアル空間の構築開始
 - ・回遊用MAP制作開始
 - 「民学産公」協働実験事業に「森の地図・プロジェクト」が採択
- 9月 「民学産公」実証実験準備スタート
 - ・各種広報活動
 - ・協力店舗募集活動
- 10月 実証実験開始
 - ・リアル空間での「イメージMAP」無料配布
 - ・関係団体との相互リンク、協力関係推進
- 11月 実証実験推進
 - ・「むさしの周遊MAP」セットの販売開始
 - ・協力店舗と連携したサービスの提供
 - ・スタンプラリーの実施
 - (財)東京都公園協会、西武・武蔵野パートナーズとの共同開催
- 12月 実証実験の終了

3. 参加団体のプロフィール

■企画協力団体

- ・NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構
- ・株式会社まちづくり三鷹

■スタンプラリー共催団体

- ・公益財団法人東京都公園協会
(東京都内の公園の管理・運営)
- ・西武・武蔵野パートナーズ
(多摩地区にある都立公園の指定管理団体)

■スタンプラリー協力団体

ラリーポイントとして、ご協力。みたか都市観光協会と武蔵野市観光推進機構は、地図セットの販売にもご協力。

【地域の観光協会】

- ・みたか都市観光協会
- ・武蔵野市観光推進機構
- ・調布市観光協会
- ・府中市観光協会

【地域文化施設】

- ・多摩六都科学館
- ・三鷹の森ジブリ美術館

【地域の都立公園】

- ・ 神代植物公園
- ・ 小金井公園
- ・ 野川公園
- ・ 武蔵国分寺公園
- ・ 府中の森公園

■ 地域協力店舗

【下記8市で営業するカフェ】

イメージMAP, スタンプラリー台紙配布にご協力。

- ・ クルミドコーヒー (国分寺市)
- ・ 珈琲屋マロコ (府中市)
- ・ デイリーズ・カフェ (DAILIES café) (三鷹市)

下記店舗は、「地図セット」の販売にもご協力。

- ・ オープンミトン・カフェ (小金井市)
- ・ 茶房萌木 (小平市)
- ・ チャイブレイク (Chai break) (武蔵野市)
- ・ ムスイ (MUSUI) (武蔵野市)
- ・ 森のカフェ (府中市)
- ・ 森のギャラリーcafé (調布市)
- ・ 森のこみち (西東京市)
- ・ ウフ (Oeuf) (三鷹市)

■ 協力企業・デザイナー等

【印刷関連】

- ・ 福永紙工株式会社 (紙の工作所)
地図セット、ブックケースの制作・印刷
記念品 (コースター) の企画・制作・印刷
- ・ 株式会社プリエイト
大地図の制作など印刷全般

【デザイン関連】

- ・ TERADA MOKEI
記念品 (コースター) のデザイン・制作
- ・ 有限会社フィン
大地図のデータ作成などデザイン全般
- ・ 竹内美咲
イラスト制作、デザイン全般
- ・ 有限会社山崎印房

スタンプラリーのスタンプを制作

- ・株式会社 hello design

ホームページの改編（本プロジェクト部分）

【配布関連】

- ・公益財団法人東京観光財団

イメージMAP等を都庁観光案内所などで設置・配布

- ・多摩信用金庫

イメージMAP等を地域内各支店に設置・配布

4. 協働研究事業の企画・実施の背景

団塊の世代のリタイア、本格的な高齢化社会の到来で、人々の余暇活動や健康に対する関心が高まってきている。一方で、IT社会の進展で、日常生活におけるリアルな体験や生身の人間と接する時間は減少傾向にある。また、大都市東京では、緑の中で健康的な活動をする空間も限定されている。

東京都のほぼ真ん中に位置する多摩地区東部には、緑に恵まれ、文化的な施設も充実した地域が存在する。この地域を人々が健康的に回遊できるしくみを構築し、それを人々の健康増進や予防医療、さらには地域経済の活性化や発展につなげていくのが、武蔵野コッツウォルズの「森の地図プロジェクト」。これを推進していくためには、地域社会や関係諸団体との連携が必須となる。また、このプロジェクトは、これまでにない仕組みを構築する試みで、いくつかの実証実験を経て道を切り拓いていくものである。

このような社会的背景と事業の性格から、「民学産公」協同研究事業は「渡りに船」的な存在であり参画に到った。

5. 協働研究事業の詳細

■スタンプラリー

「武蔵野コッツウォルズ」の事業コンセプト（空間提示）は、2012年にスタートしたもので世の中にまだほとんど認知されていない。そのため、認知を広げる広報的な活動を兼ねて「森の地図・スタンプラリー」を企画した。第1回であるので、武蔵野コッツウォルズの全エリアをカバーする形で行う。ラリーポイントは、地域の観光協会や文化施設、都立公園のサービスセンターであり、計11か所で実施される。ラリー達成者に進呈する記念品として、「森の地図・1/100 コースター」を制作。これは、「紙の工作所」、「TERADA MOKEI」とのコラボレーション企画で実現したものである。

■地図関係の制作

「武蔵野コッツウォルズ」の世界や空間を認識できる「イメージMAP」を制作、都立公園のサービスセンターや地域の観光協会、都観光財団案内所などに設置して無料配布する。また、地域を安全に回遊するのに役立つ道路情報や施設情報などを網羅した「地図セ

ット」を企画、実際の踏査データをもとに編集・制作、販売する。デザイン・編集関連は外部協力会社に業務委託。

■地域ネットワーク構築

回遊者の満足度を高めるうえで、地域店舗をネットワーク化し来訪者をもてなすサービスを充実させていくことがこの事業の大きなテーマのひとつである。今回はその先駆けとして回遊時に休憩、軽食が取れるカフェに限定して参加を募る。協力依頼内容は以下の通りである。

- ・イメージMAPの頒布
- ・「地図セット」の販売
- ・店舗情報の地図やホームページへの掲載

■参加型ホームページの構築

武蔵野コッツウォルズのホームページを今回のプロジェクトに連動するよう閲覧者参加型のホームページに改編。投稿を受け付けることが可能なものにする。この作業は、外部デザイン会社に業務委託する。

6. 実施結果

■スタンプラリー

推定約 2,000 名が参加。8 か所以上のラリーポイントをクリアし、記念品交換に応募された方は約 50 名で、目標の 100 名の約半数であった。

<詳細は別紙資料有>

■地図制作と販売

予定通りに「イメージMAP」、「地図セット」とともに完成。イメージマップの無料配布と「地図セット」の販売を行った。しかし、「地図セット」の制作に多大な労力と時間を取られ、販売ルートの確立に手が回らなかった。半径約 5 キロの円周内の道路を、安全度により色分けしたMAPを制作するため、担当 2 名ですべての地域を実踏。安全度とともに、ベンチやトイレの位置など回遊に役立つ情報を約 2 か月間で調べ、地図に反映させた。

「地図セット」の販売に関しては、2 か所の観光案内所（三鷹、武蔵野）と 8 か所のカフェ店舗の協力を得て行った。いずれもご好意での協力であり、今回は、販売手数料等の支払いは無かった。販売総数は、40 セットで、内訳は次の通りである。

- ・観光案内所 … 7 セット
- ・カフェ … 14 セット
- ・その他 … 19 セット

その他には、三鷹SOHOフェスタでの販売やこのプロジェクトを進める中で、直接ご紹介できた方々の購入が含まれる。

■地域ネットワーク構築

少ない準備期間であったが、エリア地域 8 市で 11 店舗の参加が得られ、地図やホームペ

ージへの店舗情報の掲載。イメージMAPの配布や「地図セット」の販売に協力していただいた。

7. 結果の考察

■スタンプラリー

第1回のスタンプラリーであることから、武蔵野コッツウォルズのエリア全域を網羅する形でラリーポイントを設定した。スタンプラリーとしては、広域となったためラリー参加者（推定 2,000 名）に比して達成者数は少なく、約 50 名となった（目標 100 名）。また、南北に移動する交通機関が弱く、回遊に不便であった。気候的にも冬の訪れが早く、好天に恵まれる日が少なかったのも影響したものと思われる（紅葉にはぴったりの時期であったが）。秋の開催時期は、検討を要する。

■地図制作と販売

初版を作るための基盤構築的な作業となったが、今後はこれをベースに更新をし、完成度や情報の広がりをつけていくことになる。自団体だけでは、取材能力に限界があるので、広く利用者が賛同者の情報提供を募り、読者参加型の「進化する地図」を実現していく必要がある。

また、販売に関しては、今回の販売場所が観光協会とカフェのみとなり、販売数を伸ばせなかった。本来的に地図（書籍的）を求めて来る場所ではないので、スペースのことも含めて最適であったとは言えない。地域出版物を積極的に扱う書店などでの販売ルートを開拓する必要がある。また、カフェなど店舗での販売を継続するうえでは、手数料や目に見えるメリットを提示することでモチベーションを確保する必要がある。これは相互にとってメリットのあることなので、適切なしくみを作って行きたい。

■地域ネットワーク構築

協力店舗の募集には、準備期間が短かったことと、参加のハードルを下げるために、利用者への特典サービスを義務付けることはしなかった。したがって、来訪者にとっては、おすすめ店を紹介するのみで、割引などの具体的な特典を提示することができなかった。来訪者の誘引力を高めるうえで今後の課題となる。

■総括

「周遊MAPセット」の販売数やラリー達成者数では、目標数値に達しなかったが、一番の目的である「認知の拡大」において今回の協働研究事業は、大きな役割を果たすことが出来た。それは、イメージMAPの配布数の他にもホームページの閲覧数で顕著な変化が見られた。スタンプラリーを実施する前の9月のPVが、1日約 22 頁であったのに対し、スタンプラリー実施期間中のPVが約 3 倍の、1日約 67 頁に増加した。

また、今回の協働実験を通じて、地域各市の観光協会や店舗、また公園を管理する東京都公園協会など関係団体と連携することが出来、今後の活動の大きな財産となった。これをもとに、さらに認知を広げ、末永く活動していける基盤を確固たるものにしていきたい。

8. 今後の計画

■認知の拡大

・第2回スタンプラリーの実施

第1回の実施結果を踏まえ、回遊エリアをしばって実施する予定。2013年春に予定している第2回は、三鷹・調布エリアを想定している（別紙企画書有）。

・各種広報活動を活性化

マスコミなどへの情報提供やフェイスブックなどのSNSを活用した認知の拡大を図る。

■交通手段の整備

●レンタル自転車導入実験

第2回スタンプラリー実施時に期間限定でレンタル自転車の導入実験を行う予定。レンタル場所の候補は、JR中央線三鷹近辺と京王線調布駅近辺の2か所で、相互に返還可とし利便性を高める。

●フリーパス（バスなど）の検討

移動の交通手段として、自転車の他にバスを中心とした「フリーパス」の可能性を検討していきたい。まずは、現状のシルバーパス（70歳以上無料）の利用促進を軸に諸問題を検討、幅広い人に活用していただけるような運用形態を模索、関係団体との交渉等を行っていく。

■出版物の企画・販売強化

すでに制作済みの地図セットの販売ルートを確立する。地域情報誌などの販売に積極的な書店を中心に販路を開拓する。一方でプロジェクトのコンセプトに合致する新規出版物（地図・地域情報・回遊ノウハウ系）を企画し、ラインナップの充実を図る。

■ネットワークづくりの推進

武蔵野コッツウォルズの空間が認知され、繰り返し訪れていただける場所となるためには、来訪者に特別な満足感を提供できる店舗のネットワークが欠かせないものとなる。ネットワークづくりは、まだ端緒についたばかりだが、今回の実証実験を踏まえ、どのようなサービス提供がふさわしいかを見極めたうえで、広く参加者を募り構築を進めていく。

【成果物】

■イメージMAP

●表面



●裏面



【表 1、表 4】



1933年東京生まれ。小説家・脚本家の父親。一橋大学経済学部卒業。英米文学専攻。編集者、翻訳家。カトリック。2002年まで日本大学芸術学部教授を務める。著書に『伊藤漱石と漱石の全書』『伊藤漱石について読む』『まじがけ』『まじがけ』（以上新潮社）。「バビロンの」(新潮社)。「どこへどこへ」(新潮社)。「どこへどこへ」(とちがけ)。「大津波をよる世帯」(東京美術研究所)。監督・脚本・演出・ドキュメンタリー(新書社)。D.H. ロレンス『チャタイル』の役人・演出・ドキュメンタリーなど多数。『財ビル』(東京大学文芸学研究所)。



小宮な。のんびりした。おやすんで。座

江東區

2012 年

秋は何をするにも、とても気持ち良い季節。紅葉（賞葉）の木々の中をウォーキングやサイクリング、グルメ散歩、自然散歩などしてのんびりと過ごすのみならず、武蔵野の地域には、半信約 5 キロメートルのエリアに 12 の都立公園があるなど、海濱にはビュッリ（観心）にも近い、健力足スポルトやホテルにもくまらる。期而中に下野のラリーイベントなどもあつたのスタンプを兼ねたもの。産の地図・プロジェクトのオリジナルグッズを進出。どうぞお帰りにご参加ください。



☆スタンプラリーの応募方法など詳しくは裏面をごらんください。

＜主催＞ 全日本福祉人東京会連合会／西武・武蔵野パートナーズ／一般社団法人武蔵野コアラウォーカーズ

【表 2、表 3】



■むさしの周遊MAP「森の地図」 set

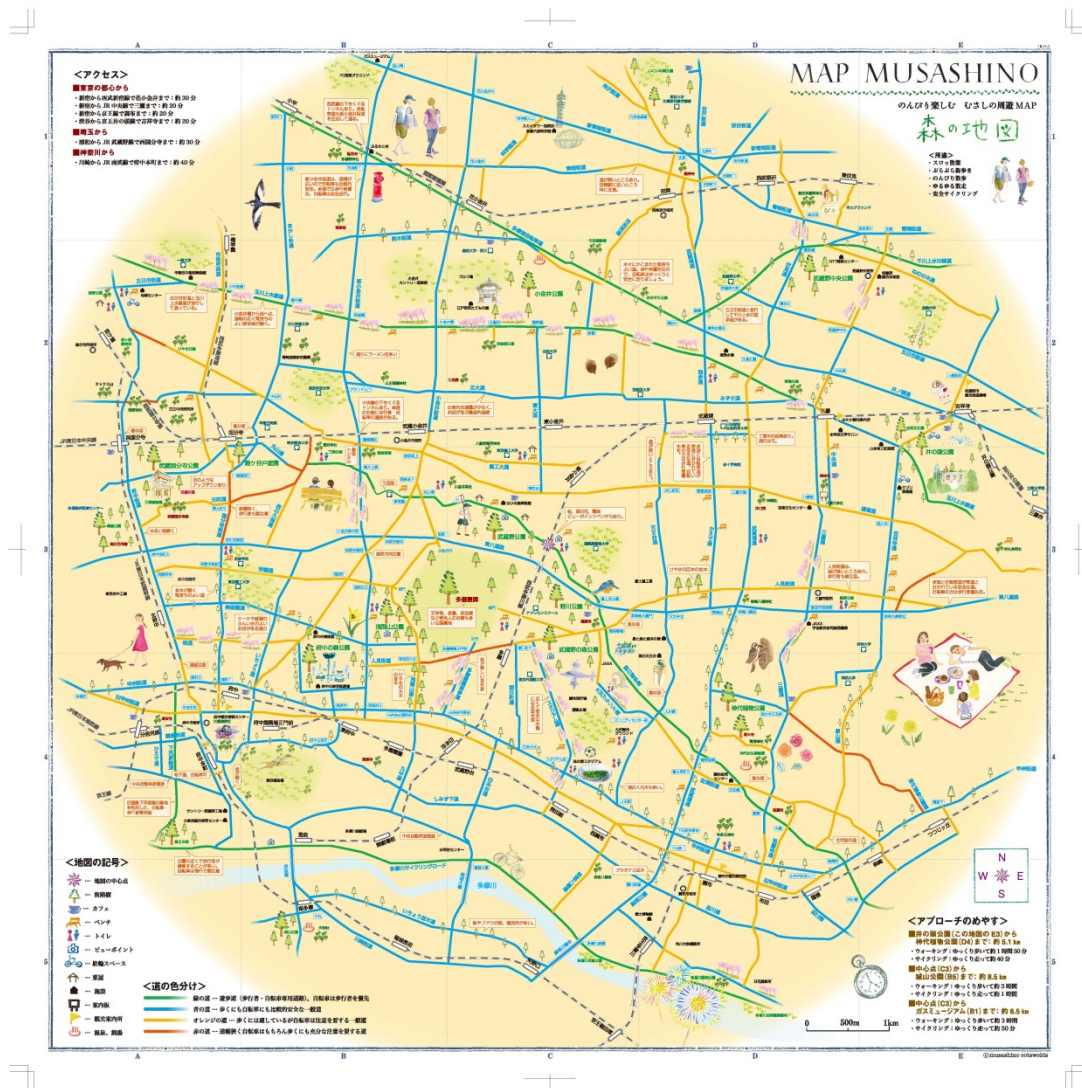


- ・大地図　・白地図 2 枚・公園／施設情報 2 枚
・カフェ案内　・地図の使い方

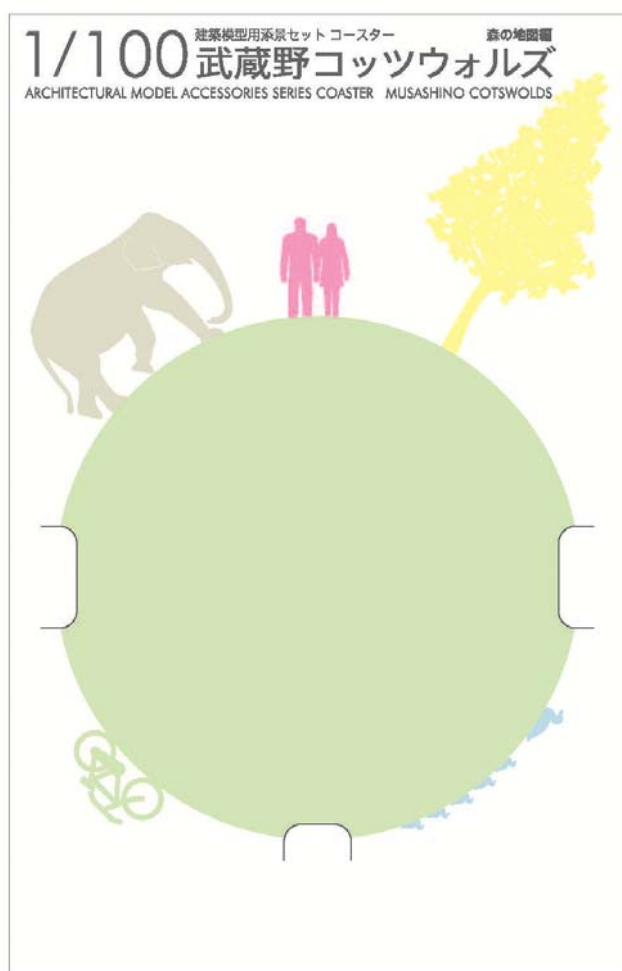
【MAPセット】



【大地図】



■スタンプラリー達成者記念品「森の地図・1/100 コースター」



【資料】

第1回森の地図・スタンプラリー 参加者の声抜粋

- ・本場のコッツウォルズにも行ったことがある。武蔵野を歩いていると心が休まる。
- ・武蔵野の自然が身近にあることが幸せ。とても楽しかった。
- ・スタンプラリーが好き。スタンプを押す欄も8個でなく、全11か所あってほうが、モチベーションがあがり良いと思う。
- ・楽しいひとときでした。ラリー台紙に載っていた伊藤礼氏のエッセイに共感。
- ・太陽系ラリーでスタンプラリーに興味を持った。記念品は使うのがもったいない。
- ・押したスタンプが可愛く、提出するのが惜しかった。手元における台紙のあるラリーもある。台紙裏面のコラムも切れてしまうともったいない。
- ・楽しい企画。ラリー達成1番を取りたかった。次回も参加したい。
- ・第2弾のラリーを期待。野川沿いを二子玉川から国分寺に向かうルートもよい。
- ・参加者に施設の入場券が当たる懸賞付だとさらにワクワクするのでは。
- ・1人でも参加できてよかった。スタンプも形、デザインが自分の気持ちにピッタリ。
- ・有料施設で入館料を払わないとスタンプを押せないところもあり残念。
- ・どこかでミニフェスティバルを開いて欲しい。楽しみにしています。
- ・楽しかった。第二弾を期待。ラリーポイントの定休日情報は目立つように書いて欲しい。
- ・良い企画なので、市の広報などでもっと案内するようにしたほうがよい。
- ・適度な距離でよかった。また参加したい。
- ・記念品の素敵なコースター、ありがとうございます。また参加したい。
- ・息子、母、父と協力し達成できた。かわいいコースターが記念になります。
- ・とても楽しかった。また、このようなイベントに参加したい。
- ・秋を満喫。六都科学館では、プラネタリウムを観賞できてよかった。
- ・公園の年間パスポートで散歩を楽しんでいる。
- ・三多摩の自然の多さをあらためて実感。自分の健康と家族に感謝。
- ・コースターがユニークで美しい。武蔵野の自然に感激。また季節を変えて訪ねたい。

【添付書類】

- ・プレスリリース
- ・第1回スタンプラリー実施データ
- ・第2回スタンプラリー企画書
- ・「地図セット」の概要

以上は、別途添付